

ミニレター

あぜみち通信

令和4年5月1日
257号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

◎ 令和4年春の叙勲で農業委員会関係者が受章されました

令和4年春の叙勲で、鈴木淳雄氏（東海市）が旭日中綬章、河合勝正氏（新城市）、白井良始氏（豊橋市）の二名が旭日双光章の栄に浴されました。

鈴木淳雄氏（元東海市長）は、愛知県農業会議副会長・常設審議委員を務められ、地域の農業振興を始めとする地方自治の発展にご貢献されました。

河合勝正氏（元愛知県農業協同組合中央会副会長理事）は、同副会長・常設審議委員等を務められ、愛知県農業の振興にご貢献されました。

白井良始氏（元愛知県経済農業協同組合連合会経営管理委員会会長）は、同理事・常設審議委員等を務められ、愛知県農業の振興にご貢献されました。

三名の方々のご功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

◎ 常設審議委員会（4月）の審議状況について

4月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。議事に先立ち、愛知県農業水産局及び都市・交通局の関係職員も出席し、それぞれ紹介を行いました。

4月の諮問は、15の農業委員会から農地法第5条に基づく転用事案27件、190,970㎡について審議され、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

一宮市(3件)、岩倉市(1件)、日進市(1件)、清須市(1件)、大口町(3件)、弥富市(1件)、飛島村(1件)、阿久比町(1件)、岡崎市(2件)、刈谷市(1件)、安城市(1件)、西尾市(2件)、新城市(1件)、豊橋市(2件)、豊川市(6件)

また、役員及び常設審議委員がこの6月に任期満了を迎えることから、その選任の考え方・進め方について事務局から説明しました。

◎ 各種の全国担当者会議・研修会等が開催されました

新年度の開始に当たり、各種担当者会議、事業説明会、新任者研修会等が開催されました。全国農業会議所主催によるものとしては、4月6～7日に「都道府県農業会議・全国農業会議所新任職員研修」、4月8日に「『雇用就農資金』担当者会議」、4月18日に「全国農業委員会都市農政対策協議会主任者会議」、4月19～20日に「農業委員会組織活動適正化会議」、4月27日に「農地利用最適化交付金に関する説明会」がいずれもWEB方式で開催されました。また、県主催として、4月12日にWEBにて「農業振興課関連事業担当者会議」、4月20日に「愛知県三の丸庁舎」にて「農地集積・集約化に係る県域関係組織WT」がそれぞれ開催。4月21日には、農業者年金基金主催の「農業者年金業務担当者会議」が開催されました。

◎ **豊田市農業委員会農地利用最適化推進委員全員協議会が開催されました**

4月5日に「豊田市高橋コミュニティセンター」において、豊田市農業委員会による農地利用最適化推進委員全員協議会が開催されました。

2月に発出された農林水産省経営局長通知（ガイドライン）に対応した農地利用最適化推進活動のあり方、農地パトロールの進め方、調査用タブレットの導入等について説明・確認がされるとともに、種々意見交換が行われました。

◎ **衆院農林水産委員会の参考人質疑に豊田市農業委員会会長が出席されました**

4月13日に衆議院農林水産委員会において、農地関連法案の参考人質疑が行われ、豊田市農業委員会・横条会長が出席し、発言されました。



横条会長は、農地関連法について「農業委員会が目標地図の素案を作り、農地の将来設計で主導権を取れるようになる。農地政策の潮目を変える内容だ」と評価し、「農業委員会の責任は重くなるが、本来果たすべき役割が明確になった」と意欲的に取り組む姿勢を示しました。

◎ **農業委員会職員等新任者研修会を開催しました**

4月14日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県農業委員会事務研究会との共催により、令和4年度の農業委員会職員等新任者研修会を開催しました。県、県農業振興基金の協力も得て、農業委員会法、農地法、農業経営基盤強化促進法、農地中間管理事業推進法など、日頃の業務に直接関係する法律の概要を中心に講義を行いました。

◎ **愛知県農業再生協議会の通常総会が開催されました**

4月26日に名古屋市中区の「J Aあいちビル」において、令和4年度愛知県農業再生協議会（会長一県農業水産局長）の通常総会が開催されました。

令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算等について審議され、承認されました。

今後の主な行事予定

- 5月11日 常設審議委員会（名古屋銀行協会）
- 5月19日 農業委員会会長・事務局長会議（名古屋銀行協会）
- 5月31日 全国農業委員会会長大会・地元選出国會議員との意見交換会及び
～6月1日 研修会（東京・渋谷公会堂、ルポール麹町他）
- 6月 7日 常設審議委員会・理事会（県三の丸庁舎）
- 6月27日 通常総会・理事会（県三の丸庁舎）

お 知 ら せ

県農業会議に農地相談員・農業者年金総合指導員を設置しています

県農業会議では、農業会議内に農地相談員・農業者年金総合指導員を設置し、農地・農業者年金等に関する各種相談を受付けています。お気軽にご相談ください。

- 相談内容 農地の貸借・売買等に関する相談、農業者年金に関する相談
- 相談時間 毎週火・水・金曜日、午前9時～午後4時45分まで（正午～午後1時は除く。）
- 問い合わせ先 TEL 052-953-5877 ・ FAX 052-953-0399
- 相談指導員 農地相談員・農業者年金総合指導員 伊奈 学

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

- ◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。国民年金 ＋ 農業者年金
- ◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者 ②年間60日以上農業に従事 ③20歳以上

- ◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

（仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。）

- ◎保険料は いつでも変更 できます。月々2万円から6万7千円まで

- ◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。

- ◎政策支援（保険料の国庫補助）が受けられます。

例：認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円（5割）補助



問い合わせ先 お住まいの市町村農業委員会・JAの農業者年金担当

一般社団法人 愛知県農業会議 TEL. 052-962-2841

愛知県農業協同組合中央会 TEL. 052-951-6944

農政の動きを知り経営に役立てる

全 国 農 業 新 聞

全国農業新聞は、農業委員会組織が編集・発行している情報紙です

★まとめて読める！週刊紙

- 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに ○地域の情報をカラーで生き活きと
- 農業・農村現場や農業者の思いを伝承 ○経営・流通に役立つ最新情報が満載
- 老若男女すべての方の元気を応援 ○文字が大きく読みやすい

発行日：毎月4回 毎週金曜日発行

購読料：月額700円、年8,400円（消費税込）

情報事業の推進には農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆様のご協力が必要不可欠です。見本紙等をご希望の場合、お気軽にお問い合わせください。

全国農業図書

“目に見える”活動のために・・・農地パトロール4点セット

★農業委員会キャップ

布製のほか夏場のパトロール向けのメッシュタイプもご用意。全員で着用することでより注目が集まり、遊休農地解消や無断転用防止などの注意を喚起できます。

- 布地タイプ(写真左)
コード番号: 17-NC 定価: 1,270 円(税込)
- メッシュタイプ(写真右)
コード番号: 16-102 定価: 1,060 円(税込)



★農業委員会腕章(布製) マジックテープ・安全ピンで固定

全員が着用することで注目が集まり、遊休農地解消や無断転用防止などの注意を喚起できます。日常の活動にも活用できます。

コード番号: 16-101 定価: 850 円(税込)

★農地パトロール・マグネット板(自動車用) サイズ: 天地 15cm×幅 54cm

自動車のドアに左右セットで貼り付けて、活動をより目に見えるようにします。

パトロールを行う全車に貼り、日頃から活用すると、不法投棄や無断転用防止の抑止効果が高まります。

コード番号: 16-100 定価: 1 枚 1,910 円(税)

★農地パトロールポロシャツ サイズ: SS. S. M. L. LL. 3L. 4L

白生地紺色のプリントがされた、抜群の吸汗性と速乾性を兼ね備えたドライポロシャツ
農業委員・推進委員の活動の「見える化」に役立つアイテムです。

- Aタイプ(写真左: 胸元にワンポイント・背面にロゴマーク)
コード番号: R03-AZ 定価: 2,500 円(税込)
- Bタイプ(写真右: 胸元にワンポイント・背面は無地)
コード番号: R03-BZ 定価: 2,500 円(税込)



●お問い合わせ先: 一般社団法人愛知県農業会議

TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399

◆発行所: 一般社団法人全国農業会議所 〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8◆